

**永田鉄山** **陸軍軍人。**{一夕会}を結成して"統制派"の中心となり、"皇道派"真崎の罷免実現直後、刺殺された。

ながたてつざん

秩父事件・1884 = 長野県諏訪郡上諏訪村(諏訪市)で永田志解理の三男に生まれる。

**帝国憲法発布**1889 = 5歳 :

郡司千島探検1893 = **9歳** :

**日清戦争始**・1894 = 10歳 :

教科書疑獄・1902 = **18歳** :

**日露戦争始**・1904 = 20歳 : **陸軍士官学校を卒業(16期)** ,

**日露戦争終**・1905 = 21歳 :

大逆事件判決1911 = **27歳** : **陸軍大学校を卒業し(23期)** .

**明治天皇没**・1912 = 28歳 :

大正政変・1913 = 29歳 : 軍事研究のため、ドイツに留学 ,

**第一次大戦始**1914 = 30歳 : 一旦帰国し ,

民本主義・1916 = 32歳 : デンマーク・スウェーデンに駐在し ,

帰国・出張を挟んで ,

**ペリヤ条約**・1919 = 35歳 : 少佐に進級後 ,

大暴落・1920 = **36歳** :

**原敬首相暗殺**1921 = 37歳 : スイス公使館付武官となり、ドイツのバーデンバーデンで岡村寧次・小畑敏四郎と陸軍革新を誓い ,

**関東大震災**・1923 = 39歳 : 帰国して、**参謀本部に入り** ,

護憲三派圧勝1924 = 40歳 : **以降、陸大教官などを勤めながら、長州閥偏重人事への批判を強めて行く。中佐に進級。**

**合理主義的、漸進的な軍政家で、元老、政官界・財界とも連絡があり、**

**円本時代始**・1926 = 42歳 : 陸軍省整備局動員課長 ,

金融恐慌・1927 = 43歳 : 大佐に進級。\*{**二葉会**}結成 ,

共産党事件・1928 = 44歳 : 第三連隊長 ,

**世界恐慌**・1929 = **45歳** : \***それを発展させた{一夕会}の結成に重要な役割を演じ、陸軍革新運動の中心人物の一人として活動。**

海軍軍縮条約1930 = 46歳 : **宇垣一成陸相の下で軍事課長を勤め総動員体制の整備にあたったが、**

**満州事変**・1931 = 47歳 : **<三月事件>に関与。荒木貞夫の陸相就任後、皇道派の形成が進む中、**

五一五事件・1932 = 48歳 : 少将に昇進して、**参謀本部第二部長に就任、国内整備優先の立場から対ソ強硬派の小畑としばしば対立。**

帝人疑獄事件1934 = 50歳 : **林の陸相就任後、軍務局長に就任すると、永田を核に統制派が顕現。宇垣系とも連携しつつ皇道派を要職**

**から追い、**

芥川直木賞始1935 = 51歳 : \***真崎教育總監の罷免を実現したが、これに怒った相沢三郎中佐に刺殺された。**